平成 14 年 4 月 19 日

『主要な財務内容、経営指標に関するお問い合わせについて』

平成 14 年 4 月 12 日に発表いたしました「主要な財務内容、経営指標」についていくつかのご質問をいただきましたので、主なものについてお知らせいたします。

【業績について】

Q 1 . これまでに発表している業績予想値と比べ、どうだったのですか？

A 1 . 現在決算数値の確定作業中であるため概数で公表させていただいております。修正業務純益は、不動産を始めとする財産管理部門の堅調な推移、資金利益の好転、経費の圧縮等により予想値を上回る実績となる見込みです。当期損失は、ほぼ平成 13 年 11 月 26 日に発表いたしました業績予想どおり 1,800 億円程度となる見込みです。

【不良債権処理について】

Q 2 . 平成 14 年度の不良債権処理はどのように見通していますか？

A 2 . 平成 13 年度において自己査定の一層の厳格化、精緻化等を図り不良債権問題の早期解決に取り組んだことにより、今後は不良債権処理を修正業務純益の範囲内で十分行えるものと考えております。平成 14 年度の不良債権処理の予想額については、決算発表時に公表させていただきます。

【保有有価証券について】

Q 3 . 保有株式残高の圧縮実績と今後の計画はどうなっていますか？

A 3 . 保有株式残高の圧縮については、平成 13 年度も株価変動リスク削減の観点から積極的に推進し、500 億円程度の減損処理も含め、簿価ベースで 1,800 億円程度の圧縮実績（全体の約 25%削減）となる見込みです。今後も半年に 500 億円程度のペースで圧縮をすすめ、株式保有制限の適用開始時期である、平成 16 年 9 月末までに自己資本の範囲内とする計画です。

Q 4 . 保有株式の減損処理はどのように行っているのですか？

A 4 . 簿価に対し、時価が 50%以上下落した全銘柄を処理しております。また 30%～50%下落した銘柄については、そのうち回復可能性がないと判定した銘柄を処理しております。

以上